→ 不見の補受 本校の児童教220名、学級教9、特別支援教室拠点校である。 本校の特色は、金冠パンドの活動や「海苔の学習系統表」を使用した海苔の学習である。また、令和6年度より高学年における教科担任制とおおたの独自教科「おおたの未来づくり」を実施していることである。 令和7年度より、7つの習慣(リーダー・イン・ミー)の考え方を生かした学校経営を推進している。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策 学校関係者記入欄 大項目 方向性 取組内容 目標に対する成果指標 取組指標 今後の改善策 見童アンケートの設問 4 生予個 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 わたしは、タブレットを 舌用して学習していま す」および き測別 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答し る困目 す」および 保護者学校評価アン ケートの設問「学校は、 タブレットを使った授業 を計画的に行い、それ に情報活用能力を付けている」の質問に対し 肯定的な回答(よくあて はまる・あてはまる)を ①STEAM教育等の教科等横断的な学び や科学教育を推進し、課題解決力や新た 力難標 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答し な価値を創造する力の育成を図っている。 をな 1 育未 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で 成来 し社 ま会 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 した割合の平均口 すを ②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断するカや、他者と協働していくカの育成を 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答し 社会の様々な課 創 題を自分事とし 造 て捉え、主体的 する力や、他に考え、他者と協 図っている。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答し 働し、問題解決し 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 ていく意欲や、予 測困難な未来社 会を切り拓いて 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 いくために重要 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答し な創造力や課題 ③情報技術を適切に活用した授業の実施 解決力、情報活 用能力を育成し を通して、情報活用能力の育成を図っている。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答し 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 60% ④大田区独自教科「おおたの未来づくり」 の研究実践校として、カリキュラム開発や 東邦大学と連携した実践を行い、児童に 情報を活用・探求させる能力の育成を図っ 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答し 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答し 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で 保護者の学校評価アン 4: % ケートの設問「学校は、8以上 ケートの設問「学校は、8以上 ウ持続可能な社会を形成していく態度を育成している」の質問に対し 肯定的な回答(よくあてはまる・あてはまる)を した割合 保護者の学校評価アン お世個 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 お界別 D外国語教育指導員の活用などにより 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答し たと目 英語に慣れ親しみながら会話をする機会 を増やし、英語カやコミュニケーション能力 の向上、豊かな国際感覚の育成を図って をつ標 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答し 担な2 いる。 うが 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で 人る 材国 を際 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 英語での実践的 育都 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答し なコミュニケー なコミュニケー ション能力を高め 権教育を推進し、自分とは異なる文化や 成市 るとともに、我が国や郷土の伝統 価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。 し 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答し ま 文化に触れ、尊 重する心や、協 力していく態度を す 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 60% 以上 :、国際社会•地 域社会に関心を 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答し ③現代社会における地球規模の課題を自 もち、持続可能な社会を形成して 分事として捉え、その解決に向けて考え、 行動する力の育成を図っている。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答し いく態度を形成し ます。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答し ④学校の特色である「海苔の学習」に、本 校独自で作成した「海苔の学習系統表」を 基に全学年で取り組んでいる。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答し 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で 児童アンケートの設問 4: 「わたしは、授業や勉強 80% が分かるようになってき ました」および 保護者学校評価アン ケートの設問「子供は、 学校の授業で学力が 身に付いている」の質 間に対し音字的な回答 た一個 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 め人別 ①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、 豊かな情操や道徳心の育成を図ってい 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答し のひ目 基と標 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答し 礎り3 とが 問に対し肯定的な回答 (よくあてはまる・あては まる)をした割合の平均 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で な個 る性 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 カと を能 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答し ②学習習熟度に応じた指導や個に応じた 学習支援、各種検定の実施を通して、す ベエのこどもに確かな学力の育成を図って 育力 成を 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答し し発 ま揮 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で 児童・生徒が豊 すす あった。 かな人生を生きていく上で基礎と る 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 なる力として かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答し ③体育や保健体育の授業など様々な機会 を通して、健康教育や食育を推進し、基本 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答し 的な生活習慣の確立を図っている。 60% 以上 また、乳幼児期から中学校まで 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 の一貫性のある 教育を推進します。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答し ④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を 行うため、保幼小の連携や小中一貫の視 点に立った教育を行っている。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答し 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で 60% 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 ④「わかる、できる・たのしい・認められる」 授業の実現のために、年間10回のOJT研修の実施など、授業改善のための研修に取り組んでいる。□ ::60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答し :「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で

学個			a [+)++	児童アンケートの設問	4:		
- 校力・教師力を向上させます 別目標4	て働くことができる魅力的な環境 づくりを進めま す。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行って	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答し	「先生は、分かりやすく 勉強を教えています」 および	以上		
			た。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答し	保護者学校評価アン ケートの設問「教師は、			А
		いる。	<i>t</i> =.	学力を身に付けさせる ために授業の工夫をし ている」の質問に対し			
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で あった。	肯定的な回答(よくあて はまる・あてはまる)を	2.		
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	した割合の平均	70% 以上		
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。				В
		り、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。				
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。				
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。		2: 60% 以上		
			3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と 回答した。				
			2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。				С
			1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未				
た自個			満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	-	1:		
		④小学校教科担任制推進校として、高学年の一部教科の担任制に取り組み、教員の専門性を生かした授業を行っている。	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答し		未満		
			た。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答し				D
			た。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で				
			あった。	児童アンケートの設問	4:		
ための学びを支援目分らしくいきい値別目標5	りの状況にあわせて教育環境を整えるとともに、 相談機能の充実をでいます。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答し	「わたしは、「いじめは ゆるさない」と思ってい	:		
			<i>t</i> =.	ます」および 保護者学校評価アン ケートの設問「教師は、			A
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	子どもの人権を尊重す る姿勢で指導している」 の質問に対し肯定的な			
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で あった。	回答(よくあてはまる・ あてはまる)をした割合			
しき		②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。	の平均	3: 70% 以上		
ますと生きる			3:80%以上100%未満の教員が回答した。				
			2:60%以上80%未満の教員が回答した。		2: 60% 以上		
			1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。				
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。				
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。				
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。				С
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で				
			あった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	-	1:		
		④特別支援教室(サポートルーム)拠点校としての強みを生かし、支援の必要な児童や不登校傾向の児童の組織的な対応を実施している。	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答し		未満		
			た。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答し				D
			た。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で				
安心な教育環境をつくります柔軟で創造的な学習空間と安全・個別目標 6	学校、ICT環境のとと使のとと使いて、可能性児童のとと使のととを向のととを向のとなった。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全 な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を 整備している。	あった。	保護者学校評価アン	以上		
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答し	ケートの設問「子供は、 安全に関する知識を理 解し、対応の仕方を身			
			た。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答し	解し、対応の仕方を身 に付けている」の質問 に対し肯定的な回答			A
			<i>t</i> <.	(よくあてはまる・あては まる)をした割合			
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で あった。		3:		
		②避難訓練や安全指導日などを通して、 危険や災害に対する教育を関係機関と連 携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		70% 以上		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。				В
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。				
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。				
		④読書学習司書を活用した学校図書館・ 読書環境の整備を進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		2: 60% 以上		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答し た。				
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答し た。				С
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。				
			W 7/20		1: 60%		
					未満		D
によ	校の大学では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	呆護者学校評価アンケートの設問「学校は、 サートの設問「学校は、 地域の人材や施設と連	I WE		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	馬し、教育活動に生か している」の質問に対し			
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	肯定的な回答(よくあて ままる・あてはまる)を した割合			
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。				
		②登下校の見守り活動等の、児童・生徒 の健全育成や安全指導に係る取組を地域 の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。				
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。				
			/こ。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答し				В
			た。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で				
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。	あった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		2:		
			4:1 おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答し		60% 以上		
			た。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答し				С
			<i>t</i> <.				
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で あった。		1.		
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		60% 未満		
		④コミュニティー・スクールへの移行をめざして、学校支援地域本部・地域教育連絡	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。				D
		協議会と協働して、学校・家庭・地域が連携した活動を実施している。	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。				
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。				
	〇[成里誣価]	は、各校が4段階で定めた成果指	標によって行う。			·	·